

ボランティアだより岸和田



地域のイベント・ボランティア情報が満載



ポッポ
岸和田市協
イメージ
キャラクター

発行所

岸和田市ボランティアセンター
〒596-0076
岸和田市野田町 1-5-5
opsol 福祉総合センター 2階
☎ 072(430)3366
FAX 072(431)1500
e-mail
vc@Kishiwadashisyakyo.onmicrosoft.com

編集

ボランティア情報紙編集委員会

拝啓 市民のみなさま

ボランティアセンターからの お知らせ

ボランティアだよりを手にとっていただきありがとうございます。

この文章をお読みいただいている方は、「ボランティアってなんだろう」「ボランティアに興味がある」と関心をお持ちだと思います。

「ボランティアをやってみたいけど、どうやったらいいの?」「ひとりでもはじめられるの?」といった疑問やお気持ちに寄り添いながら、ボランティア活動を推進しているのが、岸和田市ボランティアセンターです。

みなさまと一緒に岸和田市民が気持ちよく笑いあえる街づくりをしていきます。

(ボランティアセンターでは こんなことをしています)

- ① あなたの希望に沿ったボランティアを紹介します。
- ② ボランティアに来てほしい方々にボランティアを紹介します。
- ③ 企業や団体などの社会貢献のお手伝いをします。
- ④ 情報誌の発行や YouTube など情報発信しています。
- ⑤ 分野を超えた人と人・団体との連携を支援します。
- ⑥ ボランティア保険の加入窓口です。

🔴マークがついている事業は赤い羽根共同募金を活用しています。

要約筆記ボランティア 養成講座 (PC編)



聴覚に障害がある方へ、パソコンを使った情報を届ける方法を学びませんか?

たくさんの人々が集まる会議や研修へ参加することに聴覚に障害があることで諦めてしまう方がいます。そのような方が様々な活動に参加するために、話した言葉を文字にして情報を届ける要約筆記があります。パソコンを使った要約筆記ボランティアとして、あなたの技術を活かしませんか。

日時 6月21日(土)、28日(土) 13時~16時
場所 opsol福祉総合センター 2階 研修室1
定員 8人(先着順)
対象 15歳以上でパソコンが使える人(ワード・エクセルの簡単な操作ができる程度)
申込締切 6月6日(金)

「いざ」というときのための備え

ボランティア保険のご案内

◎ボランティア活動保険

補償の種類	国内で活動中に、 ①ボランティア自身がケガをした際の傷害補償 ②他の人の身体や財物に損害を与え、ボランティアが法律上の損害賠償責任を負った場合の賠償責任補償	
加入できるのは	ボランティア活動を行うことを目的としている団体(自治会・老人会などは一部の活動のみ対象となります。)	
保険料 (1人あたり)	Aプラン	300円
	Bプラン	500円
	Cプラン	600円
保険有効期間	4月1日から翌年3月31日まで (中途加入の場合は受付日の翌日から。)	
加入手続き	■社協に備え付けの「加入申込書」をご記入の上、保険料とともにご提出ください。 ■名簿を別紙添付される場合は、必ず2部ご用意ください。	

◎ボランティア・市民活動行事保険

補償の種類	行事開催中に、 ①参加者やボランティアがケガをした際の傷害補償 ②参加者または第三者の身体や財物に損害を与え、主催者が法律上の損害賠償責任を負った場合の賠償責任補償	
加入できるのは	ボランティア団体・各種市民活動団体(自治会・老人会・子ども会なども含みます。)	
保険料 (1人あたり)	行事内容により区分が異なります。また、宿泊を除いて、最低20人分の保険料が必要です。	
	A区分	30円
	B区分	134円
保険有効期間	C区分	
	262円	
加入手続き	行事期間中(開催日前日までに申し込みが必要です。) ■社協に備え付けの「加入申込書」をご記入の上、保険料とともにご提出ください。 ■名簿を別紙添付される場合は、必ず2部ご用意ください。	

補償内容などの詳細はホームページでもご覧いただけます。
<http://www.syakyo.or.jp/vc-hoken.html>

ボランティアセンター 移動のお知らせ

4月1日よりボランティアセンターは、市民活動サポートセンター(福祉総合センター2階 階段そば)へ執務室が移動します。



ボランティア・市民活動の相談窓口が1か所になり、相談しやすくなります。

○ボランティアセンターの執務内容

- ・ボランティア・市民活動をした方や来てほしい施設、団体等の相談・マッチング
 - ・ボランティア保険の加入手続き
 - ・各種助成金の推薦 等
- 皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

子どもの居場所 ボランティア募集

岸和田市内では、約30ヶ所の子ども食堂や学習支援を行う子どもの居場所があります。

子ども達とふれあうことが好きな方、料理が好きな方、勉強を教える経験をしてみたい学生さん等、いろいろな形で子どもたちを支えるボランティアを募集しています。

他にも各子どもの居場所の活動を、SNSなどで情報発信をお手伝いいただける方も募集しています。

右のQRコードから、子どもの居場所の地図からご覧ください。

興味関心のある方は、下記へお問い合わせください。



編集後記

厳しい寒さが続く日にやんわり暖かい時間が流れたのは、今号で特集した「DSFバンドの会」を取材したときのことで。障がいにもげず笑顔でチャレンジする姿は生き生きとして眩しかったです。

いろんな場所に出かけ、そこでの一生懸命を取材して紹介する。そんな活動がすそ野を広げる一助になればいいのにと感じました。本紙が届くころには、春爛漫となっていることを願いながら。
(編集委員 中川)

【ボランティアセンターは日・祝はお休みとなっております。】

4面記事に関するお問合せは社協(地域福祉係) 430-3366またはメールvc@Kishiwadashisyakyo.onmicrosoft.comまで



エンジェルスマイル ダウン症児・者のきょうだいの会 【DSFパンダの会】

エンジェルスマイルはダウン症のピアサポートです。
ピアサポートとは同じような立場の人によるサポートです。
その様子は本紙「ボランティアだより第100号」に掲載されています。

全国や大阪には、きょうだいに障がい者がいる方たちの会はあるのですが、ダウン症児・者に特化したきょうだいの会はありませんでした。
昨年10月16日、エンジェルスマイルが初めてダウン症児・者のきょうだいの会【DSFパンダの会】(以下、パンダの会)を立ち上げました。
2月16日に取材に行きました。



●Instagramでつながった

福祉センターの会議室には三重県、奈良県、大阪市から、成人したダウン症者がきょうだいにいる家族が集まりました。また、エンジェルスマイルの落合さんの作業所仲間や岸和田市手をつなぐ育成会の方などが駆けつけて、和やかに意見交流が行われました。

自己紹介や意見交換するところから始まりました。皆さんが知り合うきっかけはInstagramという方もおられ、さすが今どきだなと感じました。

●届けたい仲間はいっぱいいる

意見交換の中で、様々な課題も見えてきました。

- 学校を卒業すると情報が入りにくいのでこのような会を知ってよかった



- 年齢が上がると本人がだんだんと運動しなくなってくる、動きにくくなるのでどうすればよいか。

スポーツ観戦や応援の楽しさ、実際にサッカーやバスケットボールに取り組んでいる例も示されました。
身障センターや民間の施設で使えるところ、NHKの10分間体操で椅子に座する方法もあると紹介される場面もありました。

- ダウン症者の寿命は、以前は医学的に20歳までと言われていたが、今は長生きできるのが当たり前。まさに親亡き後の心配は尽きない。

きょうだいが担う責任が大きくなった。小さいときからのきょうだいのつながりが大切。あまり関わらなかったきょうだいが成長して協力的になってきた。

最後には、お互いに連絡を取り合う方法や、桜の咲く頃の再会を確認して終了しました。

今回の交流会に同席して、一歩ずつ歩みを進めておられるエンジェルスマイルの様子がよくわかりました。代表の落合さんは、今後は法人化を目指していくと意欲を語っておられ、エンジェルスマイル並びにパンダの会の発展を願います。

(編集委員 中川・尾崎)

活動の詳細はこちら →



右代表の姉と左自称社長の妹